

大山寺の紅葉を求めて・・・
ヤビツ峠～大山

実施日 2017年11月26日(日)
 天候 晴れ
 リーダー 渋谷 京子
 参加者 涌井良明、白石恵美子、石附智江、渋谷賢寿、渋谷京子、伊藤久雄、石原勝正、瀧澤きよの、宮崎敏男、佐藤聡美 計10名
 費用 1,580円(新宿起算、大山ハイキングフリー切符)
 タイム 蓑毛BS(9:25)髭僧の滝分岐(10:05)髭僧の滝(10:13~10:20)分岐(10:25)ヤビツ峠(11:20~11:30)大山(12:45~13:25)見晴台(14:15~14:20)阿夫利神社下社(14:45~15:00)大山寺(15:10~15:20)追分～大山ケーブルBS(15:50)

大山、過去3回登っているが今回はマイナーの蓑毛からヤビツ経路を歩く事にしました。標高差1000m、峠までバス利用がほとんどだが、我が会は達成感をより味わう為麓から頂きを目指した。



降りる客はまばら、身を直ぐ度を整え樹林帯を真っ直ぐ坂道を上がっていきと山道へ。快晴無風の山日和40分で髭僧の滝分岐、左はヤビツ峠右へ10分細い道を登り詰めると滝が姿を現した。昔、髭の長い僧侶が修行した事に由来するといか。分岐に戻り歩き易い緩やかな登山道を行く。もみじの紅葉が瞳に飛び込む。オレンジ、黄、緑のグラデーションが陽光

に煌めきなんと美しい。

2時間程でヤビツ峠、小休止後厳しい登り坂が続く。樹林越しに真っ白な富士の姿が垣間見える。標高が上がると共に風が吹き抜け汗ばんだ身



体から体力を奪っていく。漸く阿夫利神社下社からの道と合流、鳥居をくぐり石の階段を上ると奥の院のある山頂に到着した。



予想を上回る登山客が廻り狭し居る。真遅いタイ取し場所苦勞し少し下がった

たカヤトに腰を落ち着けた。眼下に伊勢原市そして遙か彼方のビル群迄見渡せる。空気の澄んだ初冬ならではの陽だまりの中ゆっくり昼ご飯と眺望を満喫して下山にかかる。

歩き易いジグザグを下降すること50分、ベンチテーブルのある見晴台に辿り着く。見晴らしはう～ん? 更に下って行くと二重滝、5分で石の階段を上がると下社の本殿に着いた。売店が有り境内も賑わっている。階段を下り右の大山寺に向かう。

石段の下りが延々と続く。脚を置く度にズンと響く。女坂なのに～! いいよいよ本日のハイライト! お寺の裏から入ると、それはそれは真っ赤なもみじが空を覆うかのように風にそよいでいる。それも本数の多いこと・・・多くの観光客が写真を撮りまくっている。



殆ど撮らない私もスマホを取り出す。夕闇が迫りつつ堪能後、寺を後にした。

左のケーブルを横目に下って行くと追分駅の横に出る。湯豆腐がチラチラするが脇目もふらず歩を進めるとゴールのバス停に着くやいなや出発した。

大山ハイキングフリー切符お得情報をNさんから頂き有り難うございました。

参加された皆さん、ロングコースでしたが素晴らしい紅葉に出会えてラッキーでした。

又ご一緒出来たら嬉しいです。有り難うございました。

(記・渋谷 京子)
(写真提供・涌井 良明)